

# 2019年3月期 決算説明会資料

2019年5月28日

株式会社 **ランドコンピュータ**  
(東証一部：3924)

# 目次

1. 2019年3月期業績資料	2
2. 2020年3月期業績予想	15
3. 今後の成長戦略	21
4. 参考資料	28

# 1. 2019年3月期業績資料

---

## 売上高

80億5,631万円

前期比 + 10.9% 

## 営業利益

5億8,519万円

前期比 + 35.2% 

## 経常利益

5億8,575万円

前期比 + 32.1% 

## 当期純利益

3億7,861万円

前期比 + 28.3% 

**(すべて過去最高達成)**

# 2019年3月期業績資料 損益計算書



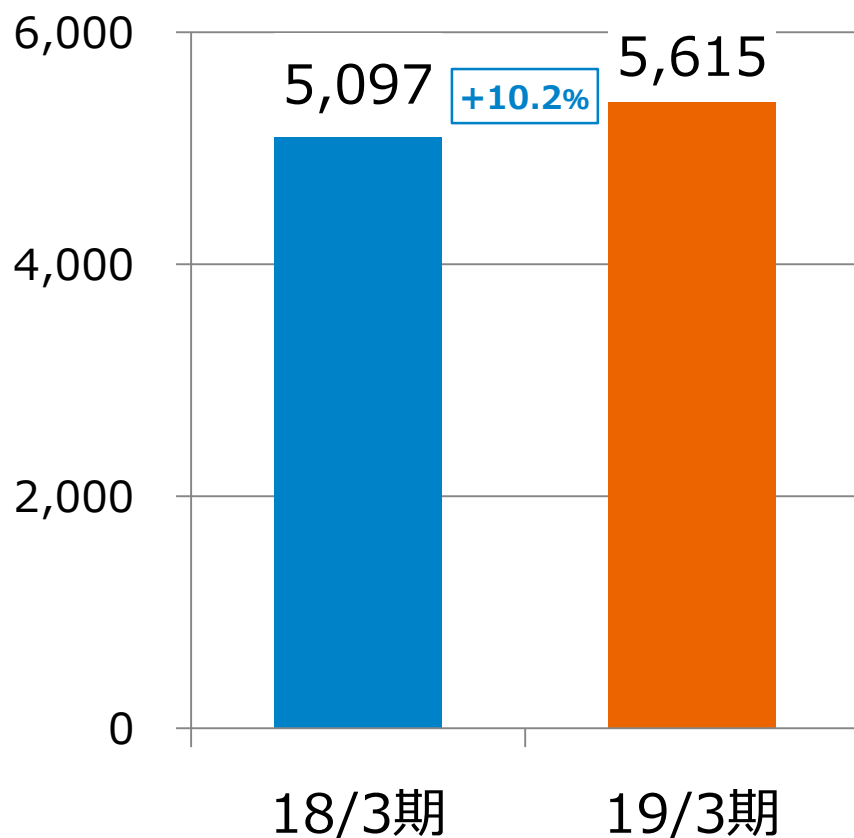
単位：百万円

	18/3期	19/3期		増減要因
	金額	金額	前期比	
売上高	7,267	8,056	+ 788 + 10.9%	金融・通信・公共部門の受注増加、ネットワーク・基盤構築案件の受注増加、パッケージベースSIサービスの受注が堅調に推移したことにより、全サービスラインで前年同期比を上回り、10.9%の増収となり過去最高売上となりました。
営業利益	432	585	+ 152 + 35.2%	前年は複数の不採算プロジェクト対応等で営業利益が減少していたが、今期は1件不採算が発生しましたがその他プロジェクトは順調に推移し、売上増加とともに利益率向上を図れたため35.2%増益となりました。
経常利益	443	585	+ 142 + 32.1%	今期は一部指定費用計上（13百万円）しましたが、営業外収益も同額であったため、営業利益と同額になり、32.1%増益となりました。
当期純利益	295	378	+ 83 + 28.3%	今期は特別利益計上が発生しなかったが（前年11百万円）、法人税等を計上し、28.3%増益となりました。

# 2019年3月期 サービスライン別売上高

	18/3期	19/3期		
	金額	金額	前期比	
売上高	7,267	8,056	+788	+10.9%
システム インテグレーション ・サービス	5,097	5,615	+518	+10.2%
インフラ ソリューション ・サービス	1,085	1,263	+177	+16.3%
パッケージベース SI・サービス	1,084	1,177	+92	+8.6%

## システムインテグレーション・サービス



### 増減要因

#### 【増加理由】

##### ①金融分野

ネットバンク及び信託銀行向け開発案件の受注増加

##### ②公共分野

新規参入案件による受注拡大

##### ③流通分野

百貨店向け基幹システム開発案件の受注増加

##### ④その他

通信業向けシステム再構築案件の受注増加、自動車関連事業向け開発案件の新規参画

# 2019年3月期

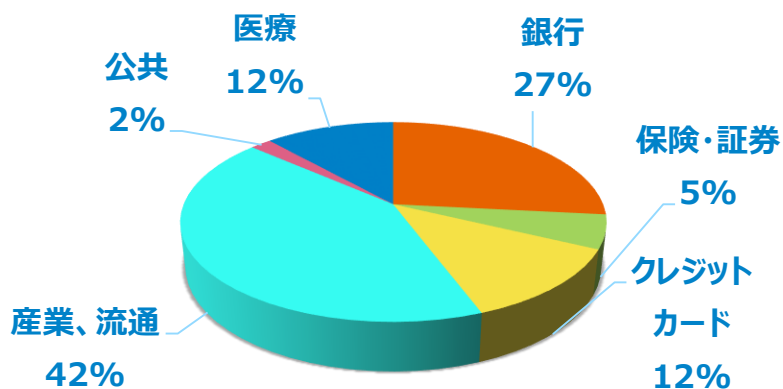
## システムインテグレーション・サービス業種別売上高



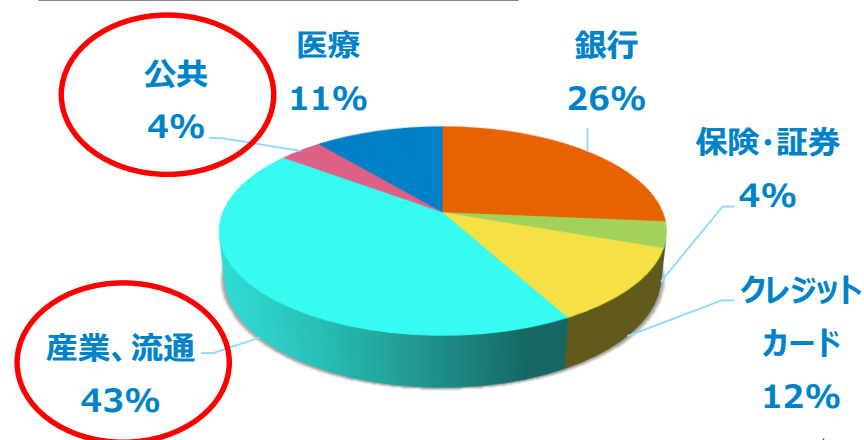
単位：百万円

	18/3期	19/3期		
	金額	金額	前期比	
売上高	7,267	8,056	+788	+10.9%
システムインテグレーション・サービス	5,097	5,615	+518	+10.2%
銀行	1,357	1,481	+123	+9.1%
保険・証券	278	224	△54	△19.6%
クレジットカード	621	654	+33	+5.4%
産業、流通	2,146	2,421	+274	+12.8%
公共	97	210	+113	+116.7%
医療	595	623	+28	+4.8%

18/3期 業種別（構成比）

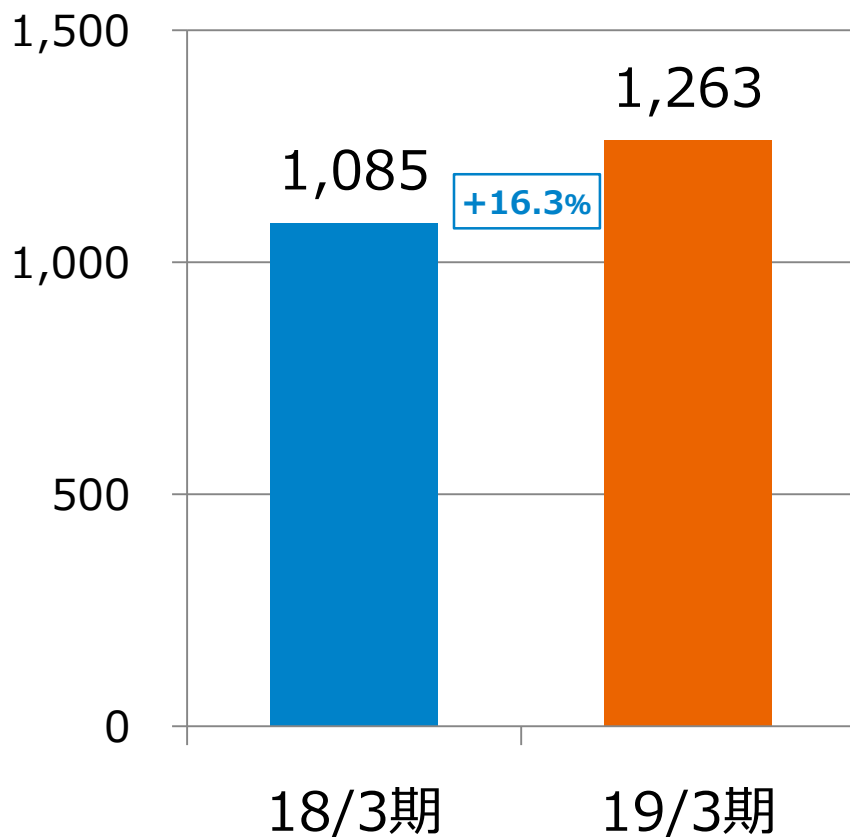


19/3期 業種別（構成比）





## インフラソリューション・サービス

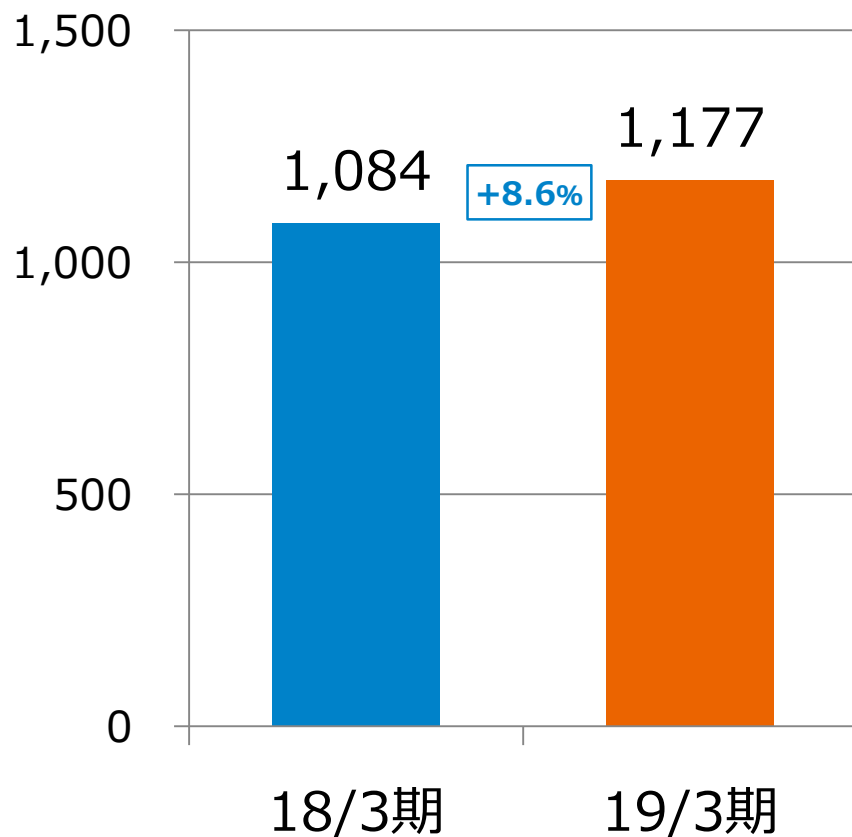


### 増減要因

#### 【増加理由】

①証券・クレジットカード分野及び公共機関向けネットワーク構築案件及び基盤構築案件にて受注が堅調に推移

## パッケージベースSI・サービス



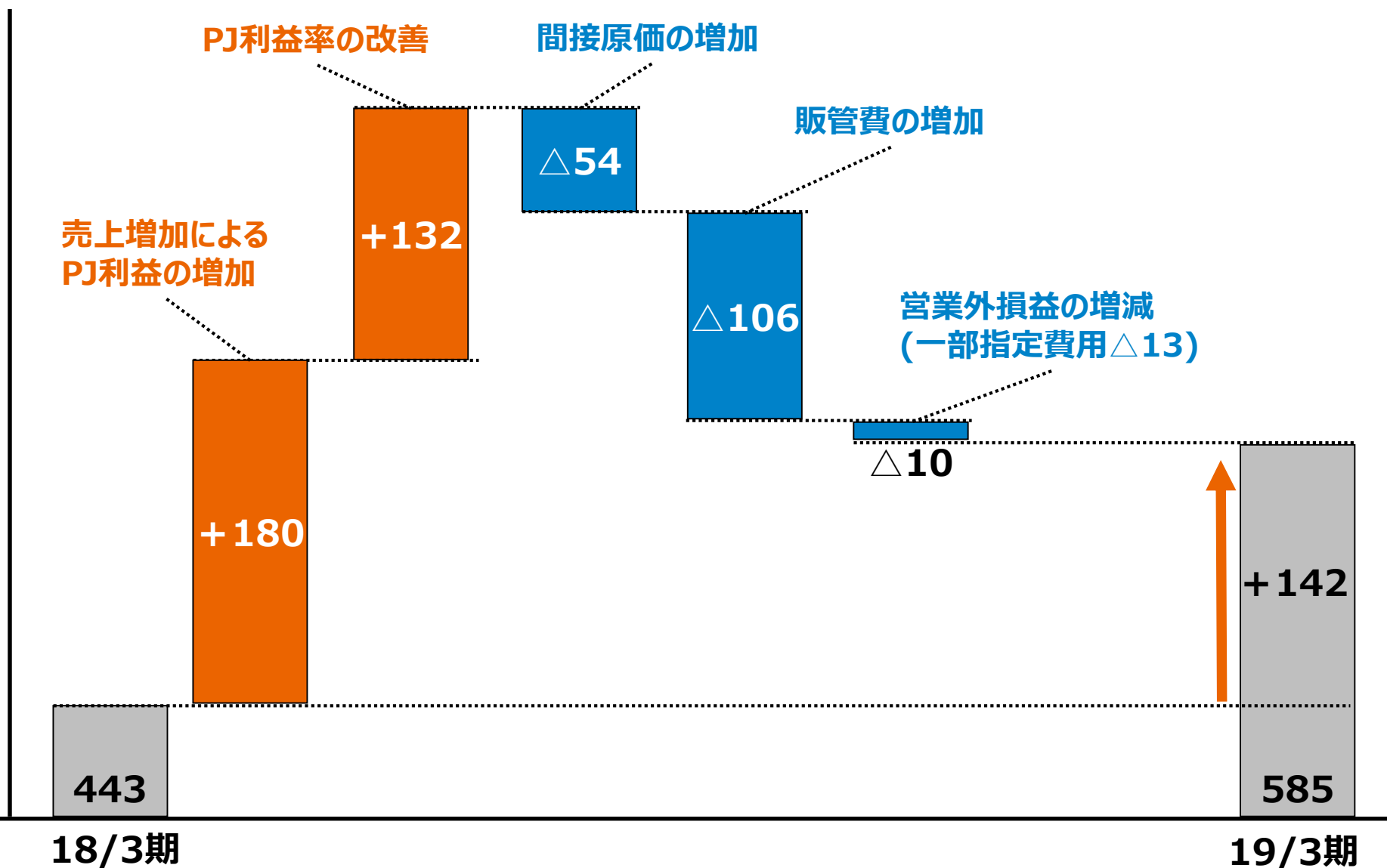
### 増減要因

#### 【増加理由】

- ①クラウドコンピューティングサービスの中心であるSalesforce関連の受注が堅調に推移
- ②人事給与パッケージ及び会計パッケージ案件が大幅に増加

区分	増減
Salesforce関連	+11
人事給与パッケージ	+61
会計パッケージ	+54
その他	△33
計	+92

# 2019年3月期 経常利益分析

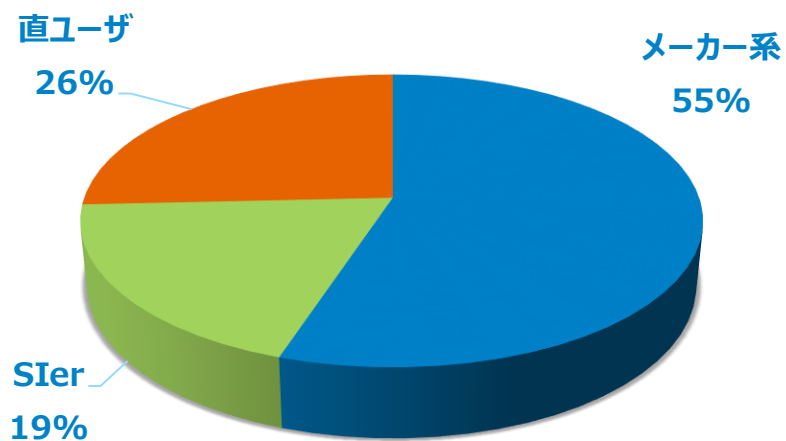


# 2019年3月期 顧客属性別売上高

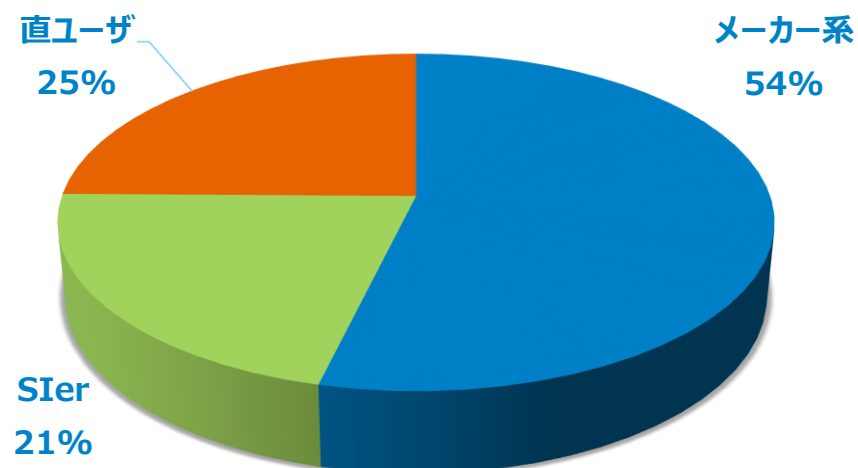
単位：百万円

	18/3期	19/3期		
	金額	金額	前期比	
売上高	7,267	8,056	+788	+10.9%
メーカー系	4,001	4,330	+328	+8.2%
SIer	1,395	1,728	+332	+23.8%
直ユーザー	1,870	1,997	+127	+6.8%

18/3期 顧客属性別（構成比）



19/3期 顧客属性別（構成比）



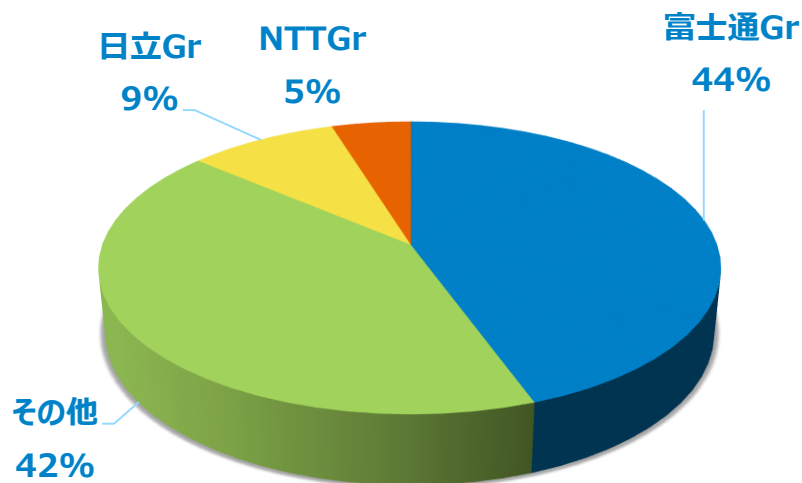
# 2019年3月期 主要顧客別売上高



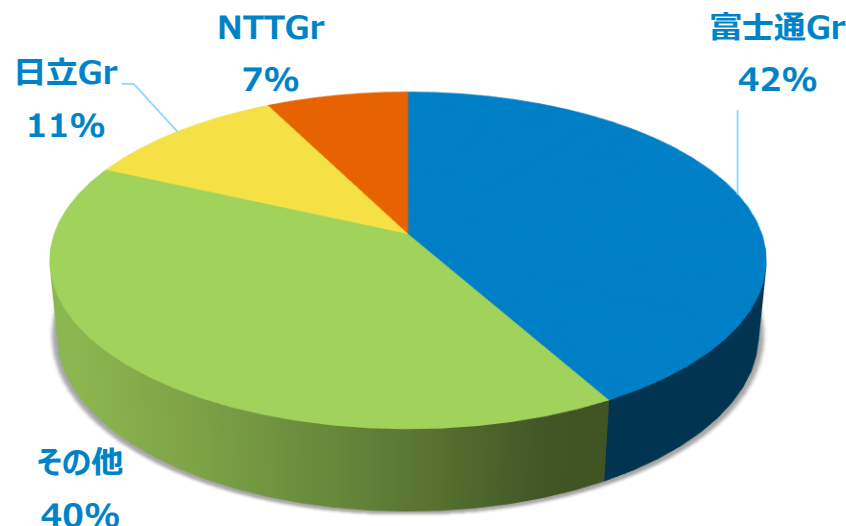
単位：百万円

	18/3期	19/3期		
	金額	金額	前期比	
売上高	7,267	8,056	+788	+10.9%
富士通Gr	3,230	3,371	+140	+4.4%
日立Gr	653	863	+210	+32.2%
NTTGr	347	601	+253	+73.1%
その他	3,035	3,219	+183	+6.1%

18/3期 主要顧客別（構成比）



19/3期 主要顧客別（構成比）



# 2019年3月期 貸借対照表



単位：百万円

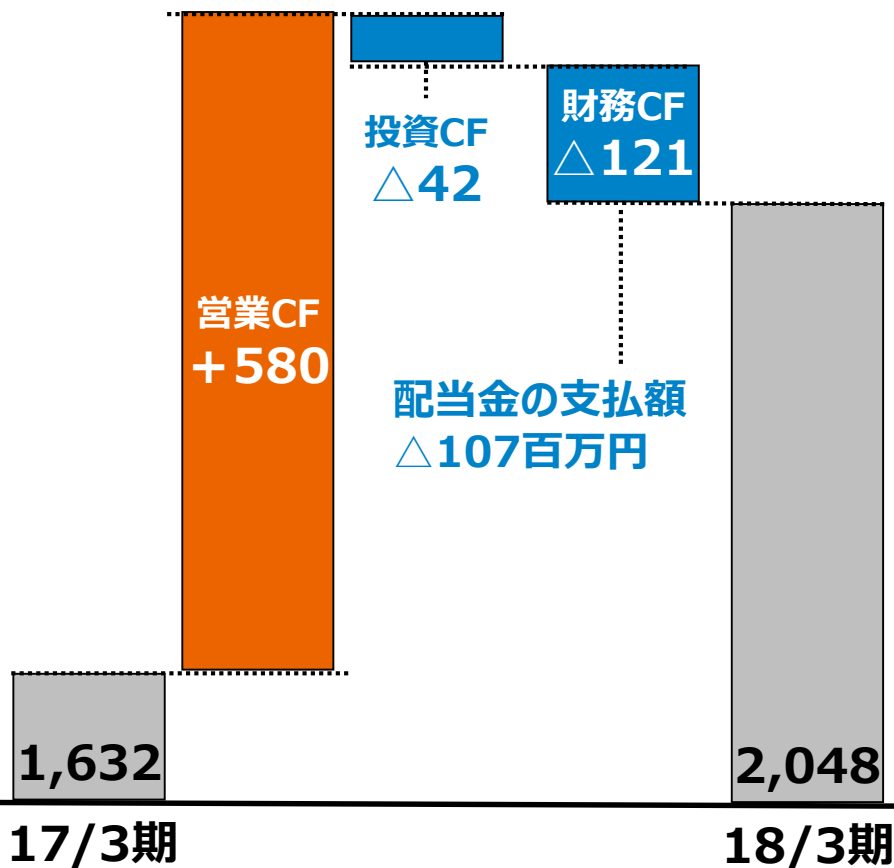
	18/3期末		19/3期末			増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
流動資産	3,998	88.7	4,503	89.5	+505	【増加理由】 現金及び預金 +3億22百万円
固定資産	511	11.3	530	10.5	+18	売上債権 +93百万円 有価証券 +1億円 投資有価証券 +18百万円 繰延税金資産 +13百万円
資産合計	4,509	100.0	5,033	100.0	+523	【減少理由】 仕掛品 △21百万円 有形・無形固定資産 △22百万円
流動負債	1,067	23.7	1,303	25.9	+235	【増加理由】 買掛金 +87百万円 未払法人税等及び未払消費税 +70百万円
固定負債	466	10.3	468	9.3	+1	賞与引当金及び役員賞与引当金 +40百万円 前受金 +12百万円 未払金及び未払費用 +21百万円
負債合計	1,534	34.0	1,772	35.2	+237	
株主資本	2,950	65.4	3,221	64.0	+270	【増加理由】 利益剰余金 +2億70百万円
その他有価証券評価差額	25	0.6	40	0.8	+14	その他有価証券評価差額金 +14百万円
純資産合計	2,975	66.0	3,261	64.8	+285	
負債・純資産合計	4,509	100.0	5,033	100.0	+74	
自己資本比率	66.0%		64.8%			

# 2019年3月期 キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円

営業C/F主な増減要因	金額
税引前四半期純利益	+585
減価償却費	+47
賞与引当金及び役員賞与引当金の増加	+40
仕入債務の増加	+87
売上債権の減少	△93
法人税等の支払額	△176



	18/3期	19/3期	前期比
営業CF	378	580	+201
投資CF	△25	△42	△16
財務CF	△107	△121	△13
現金及び現金同等物の増減額	245	416	+171
現金及び現金同等物の期首残高	1,387	1,632	+245
現金及び現金同等物の期末残高	1,632	2,048	+416

## 2. 2020年3月期業績予想

---



# 2020年3月期業績予想 損益計算書



単位：百万円

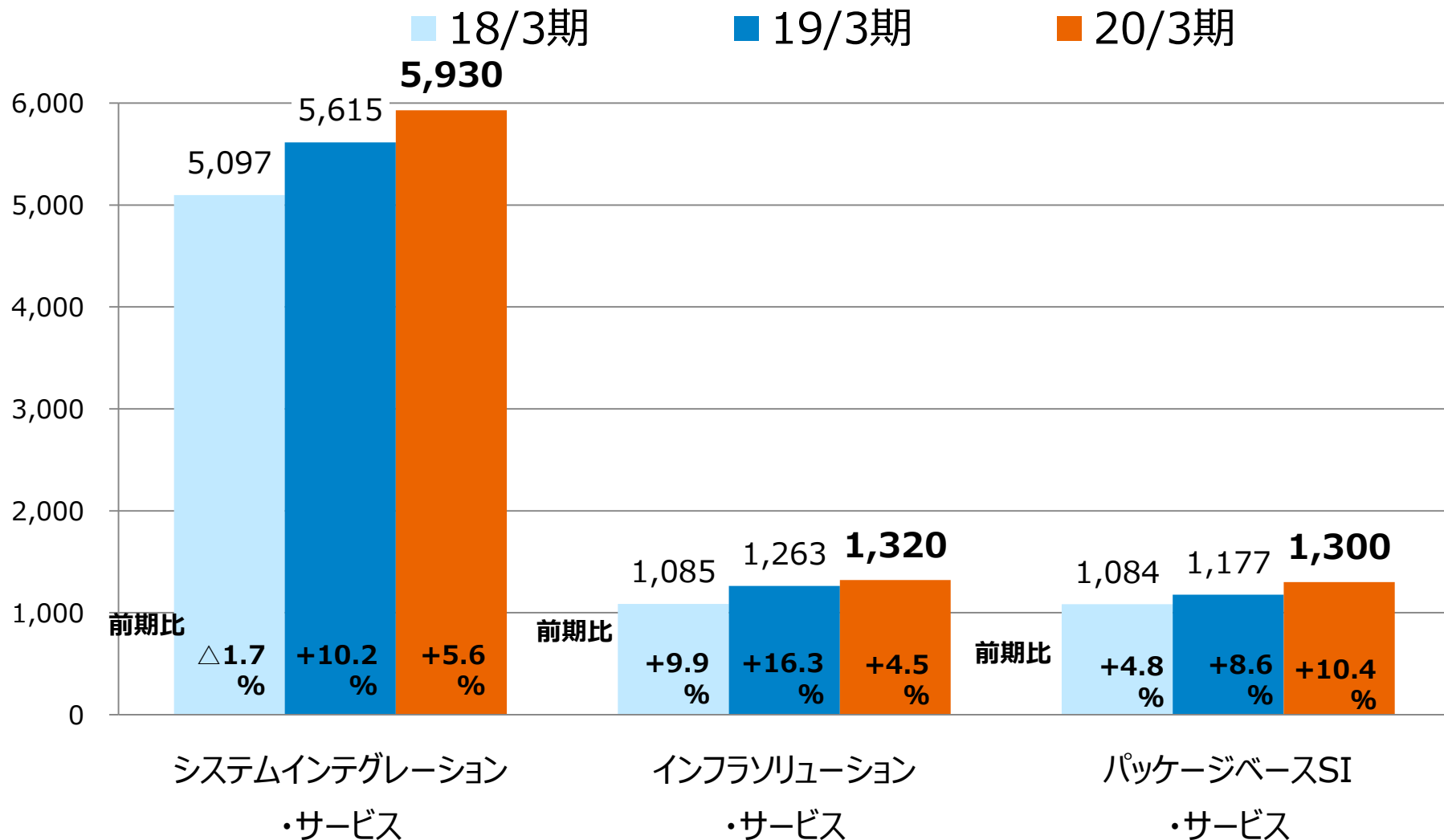
	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期 予想	前期比	
売上高	7,208	7,267	8,056	8,550	+494	+6.1%
営業利益	367	432	585	609	+24	+4.1%
経常利益	371	443	585	620	+35	+5.9%
当期純利益	242	295	378	400	+22	+5.7%

**(3期連続增收増益へ)**

# 2020年3月期業績予想 損益計算書

	19/3期 上期	20/3期 上期予想	前期比	19/3期 下期	20/3期 下期予想	前期比
売上高	3,709	3,938	+6.2%	4,346	4,612	+6.1%
営業利益	194	203	+4.8%	390	406	+4.1%
経常利益	193	214	+11.1%	392	406	+5.9%
当期純利益	124	138	+11.0%	253	262	+5.7%

# 2020年3月期業績予想 サービスライン別



# 2020年3月期業績予想 サービスライン別内訳

システムインテグレーション・サービス	19/3期	20/3期	前期比
	5,615	5,930	+5.6%
金融	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットバンクを中心とした新規案件の受注獲得</li> <li>・損害保険向けシステム開発案件の新規参画</li> </ul>		
公共	官公庁向けシステム開発の新規参画案件の拡大		
産業・流通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術力、業務知識、品質を武器に新たな直ユーザと一括請負化の新規開拓</li> <li>・社会基盤（通信・社会インフラ）案件の受注拡大</li> </ul>		

# 2020年3月期業績予想 サービスライン別内訳

インフラソリューション・サービス	19/3期	20/3期	前期比
	1,263	1,320	+4.5%

- ・システムインテグレーション・サービスと連携した商機創出
- ・金融分野（銀行・証券等）及び公共・文教分野等のストックビジネスの受注拡大

パッケージベースS I・サービス	19/3期	20/3期	前期比
	1,177	1,300	+10.4%

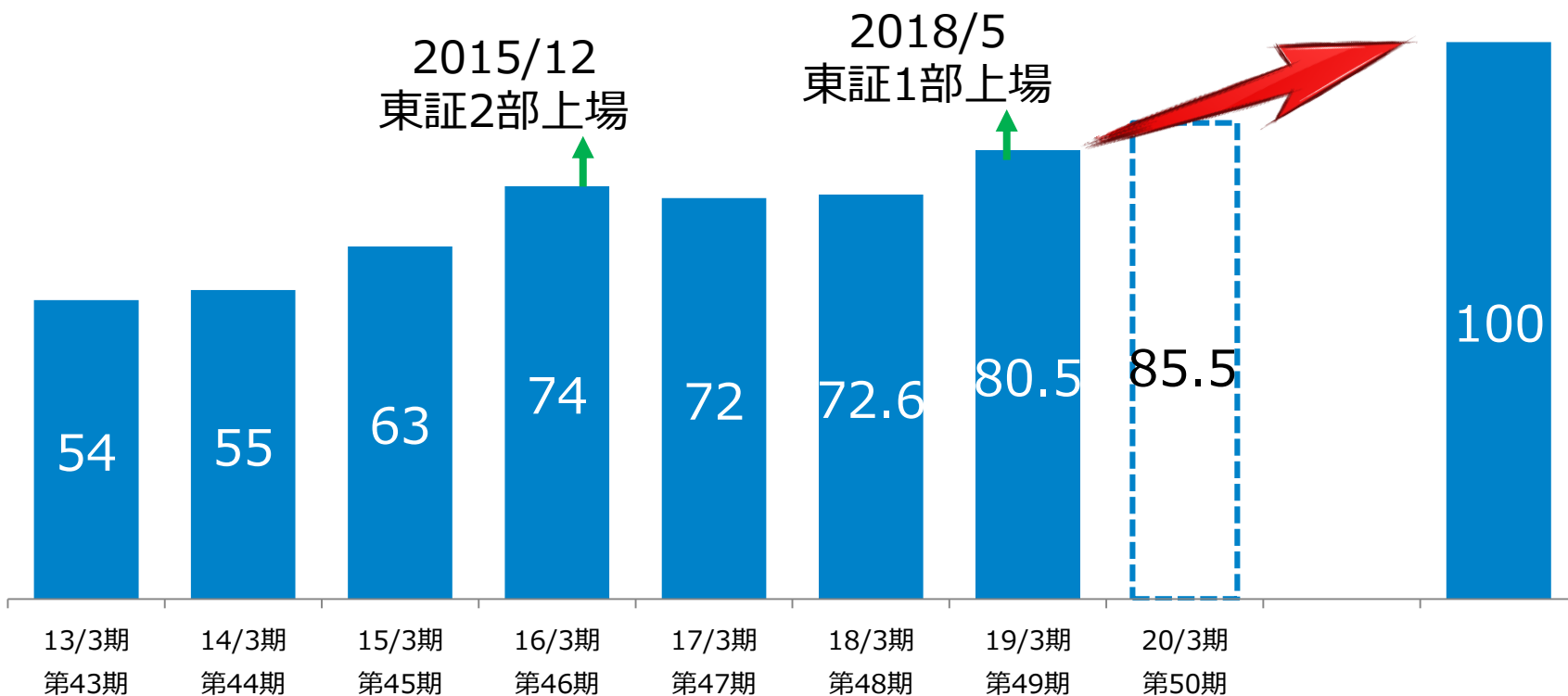
- ・Salesforceを中心としたクラウドサービスの導入支援、カスタマイズの大規模案件の開拓
- ・新たなシステム・パッケージベンダの開拓と保守案件の獲得
- ・自社アプリケーション開発による新たなビジネスモデルの創出
- ・新デジタル技術ビジネスの新規開拓

## 3. 今後の成長戦略

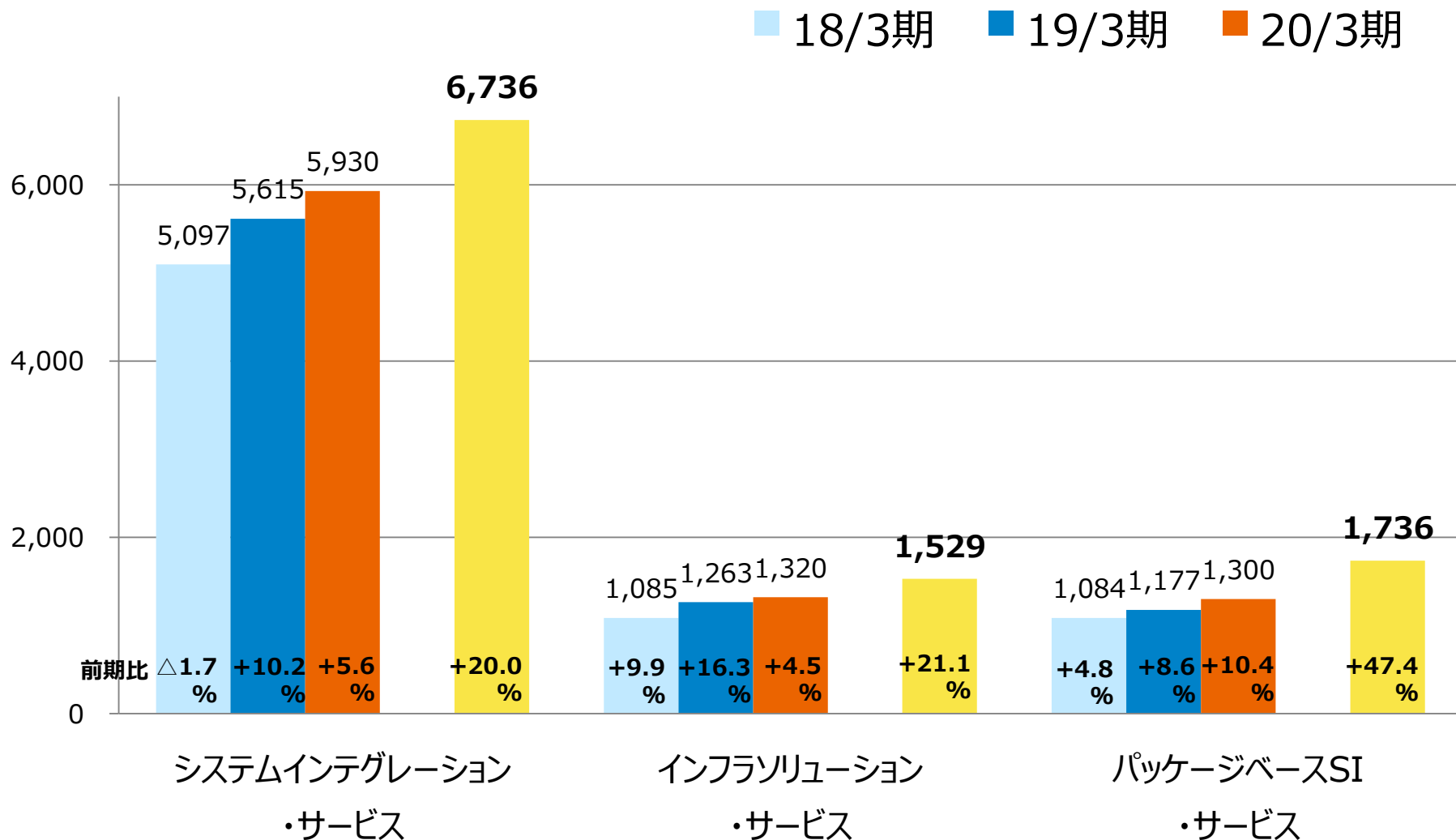
---

売上高

# Attack 100 億円

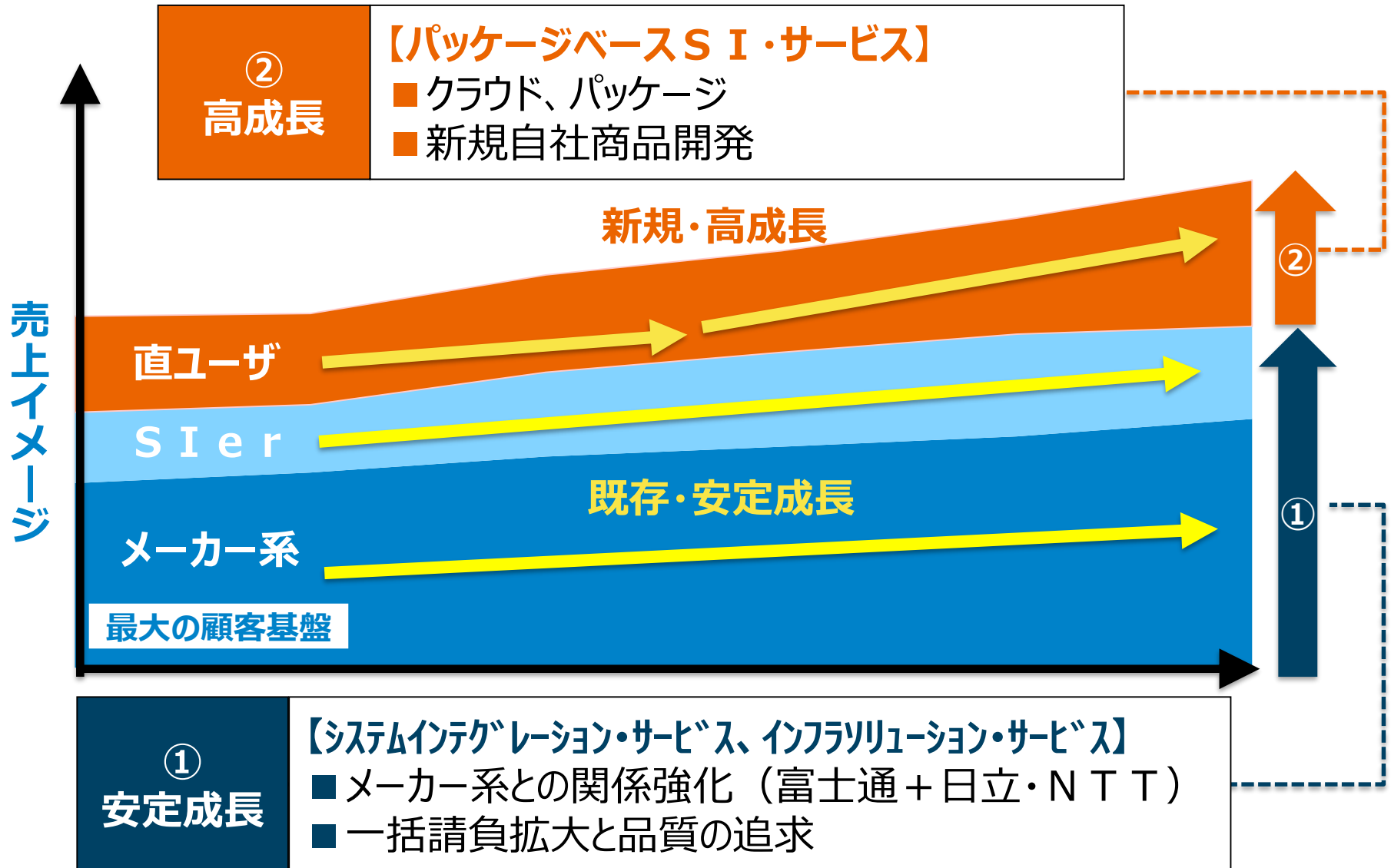


# 今後のビジネス展開 成長イメージ





# 今後のビジネス展開 成長イメージ



①

既存技術の強化と成長力の高いドメインの推進  
⇒クラウド分野を中心とした成長力の高いドメインに特化  
⇒超高速開発ツールの導入による生産性・品質の向上

②

新たなビジネスモデルの創出  
⇒ビジネスインキュベーション推進室を中心に検討

③

新デジタル技術の取り組み  
⇒アプリケーション開発推進室を中心にIoT、AI、  
ブロックチェーン等の新たなデジタル技術の蓄積

④

**開発要員の採用強化、パートナー企業との更なる  
連携強化**

**⇒人財管理本部の人員増員による採用強化**

⑤

**不採算プロジェクト再発防止に向けたプロジェクト  
管理強化**

**⇒PMOを中心としたプロジェクト監視強化継続**

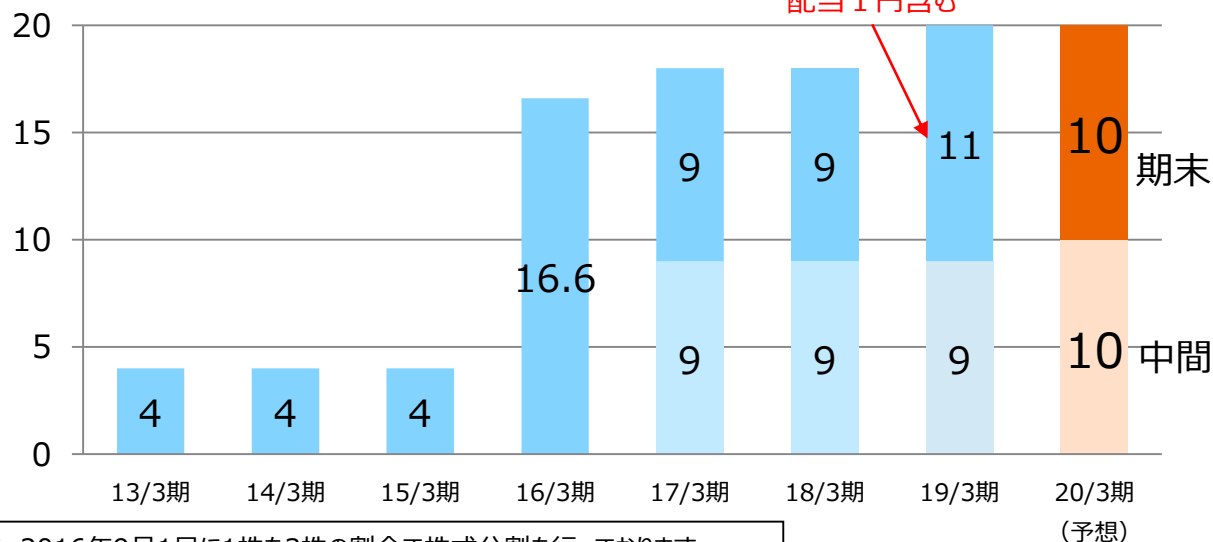
# 配当・株主還元



単位：円

東証一部指定記念  
配当1円含む

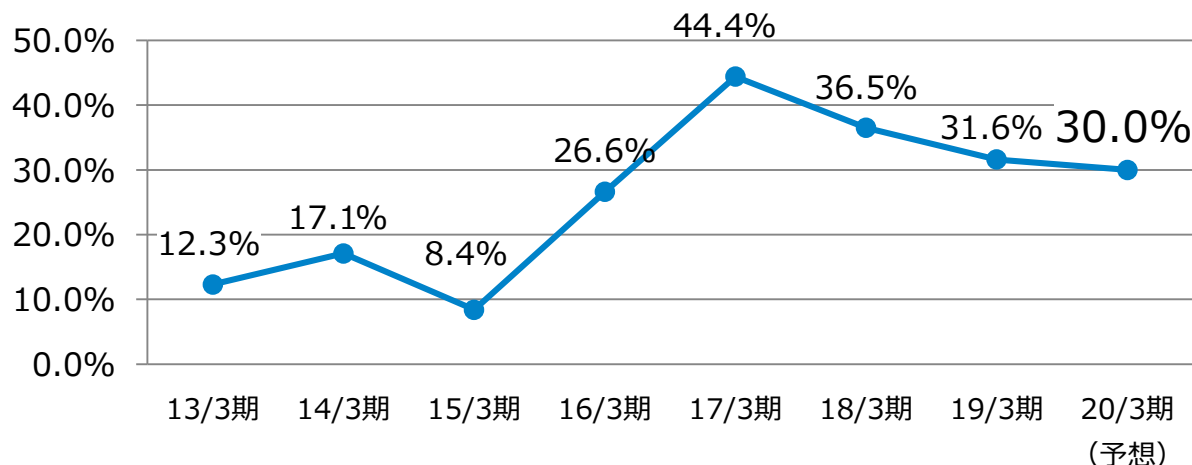
● 普通配当年間予想  
20円/1株



注) 当社は、2015年8月3日に1株を5株の割合で、2016年9月1日に1株を3株の割合で株式分割を行っております。  
配当については当該株式分割を考慮して算定しております。

● 配当性向予想  
30.0%

配当性向30%  
以上を目処に還元



※19/3期の期末配当については、2019年5月13日開示の  
剰余金の配当（増配）に関するお知らせをご参照ください。

## 4. 参考資料

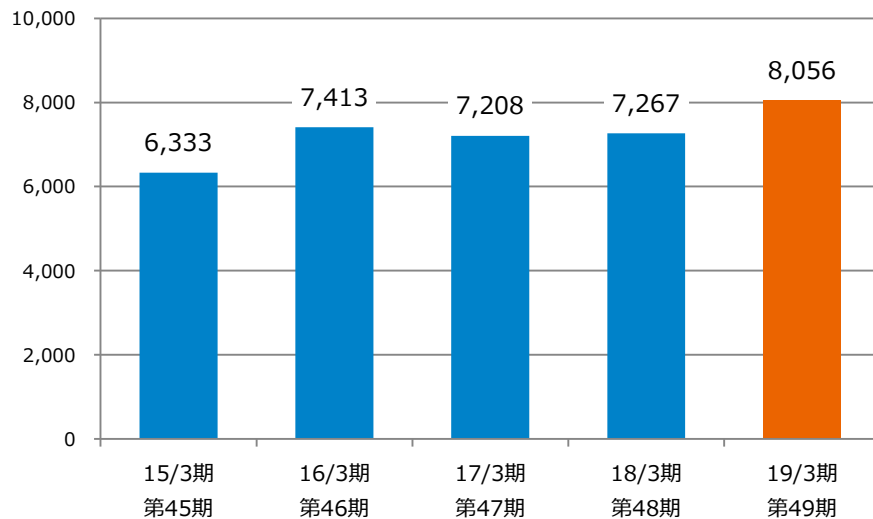
---

# ランドコンピュータの業績等の推移

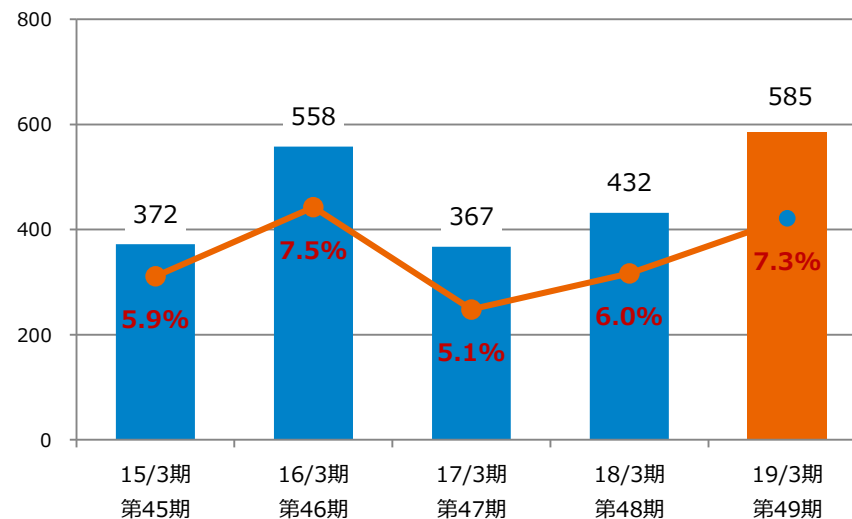


単位：百万円

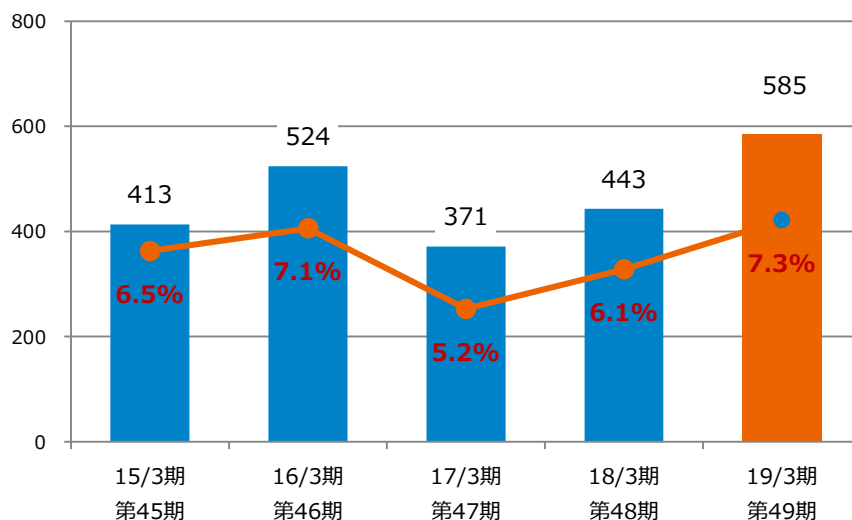
□売上高



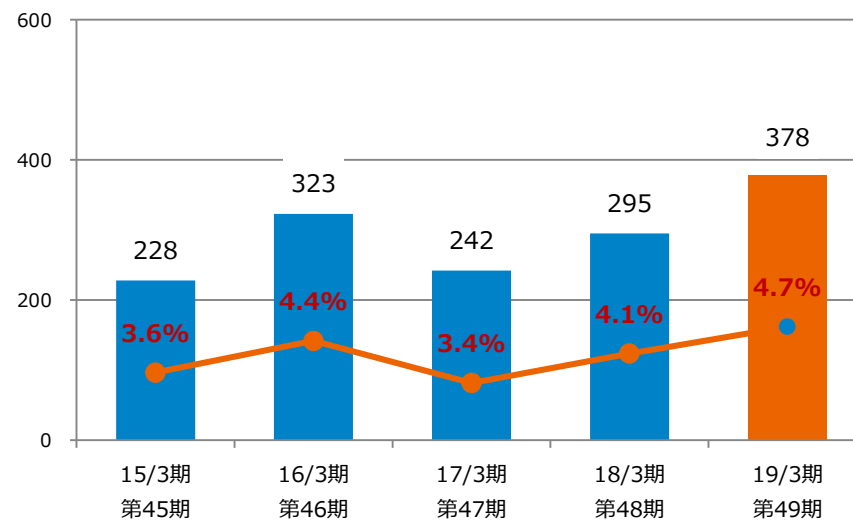
□営業利益○同率



□経常利益○同率



□当期純利益○同率

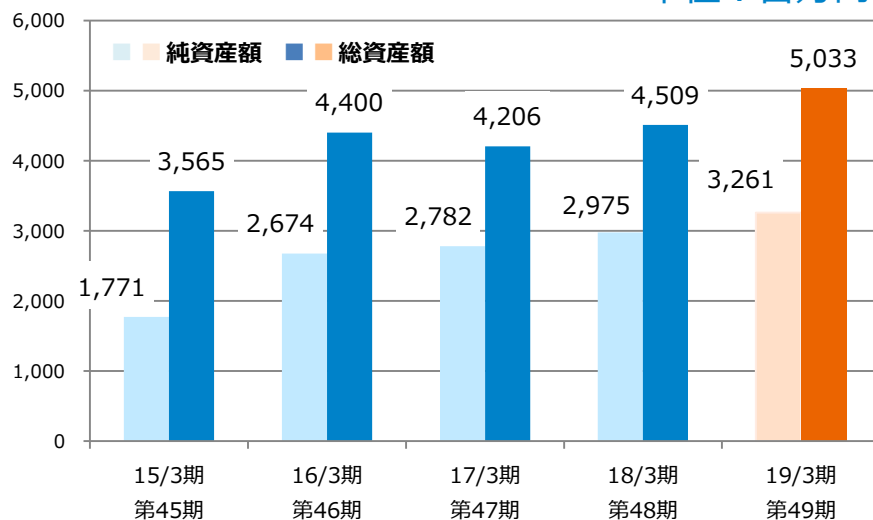


# ランドコンピュータの業績等の推移



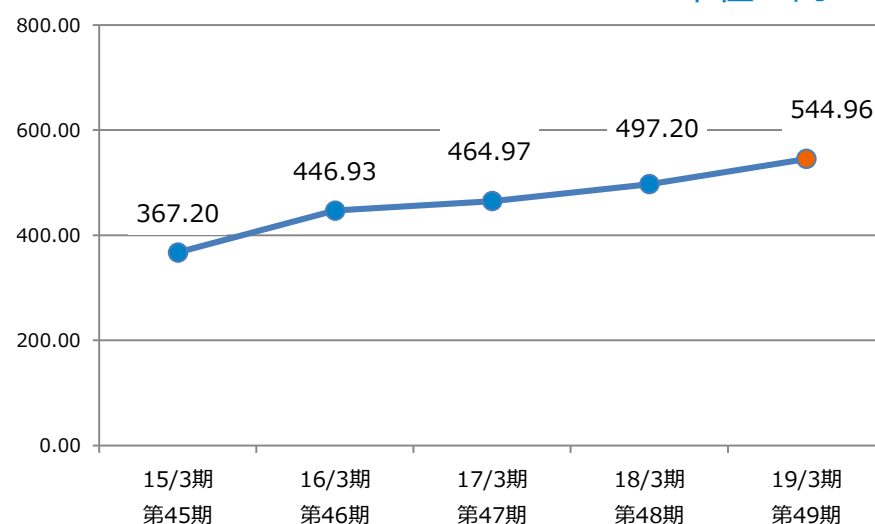
□ 純資産額/総資産額

単位：百万円



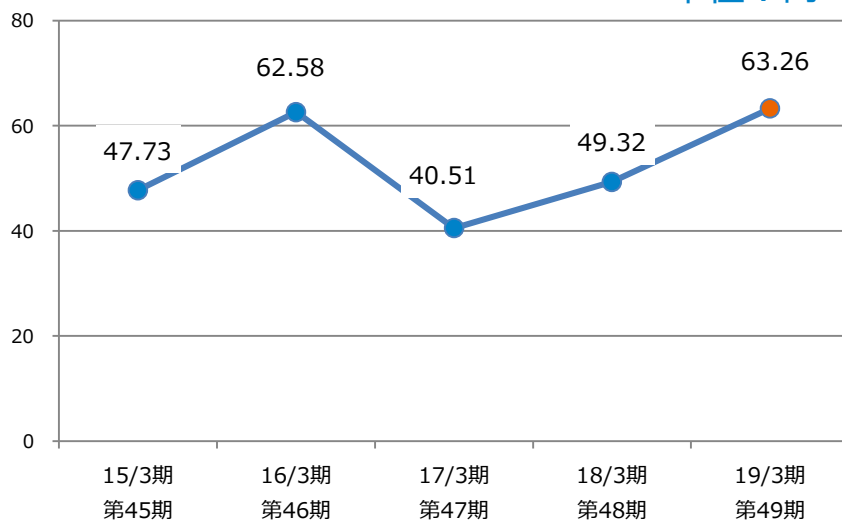
□ 1株当たり純資産額

単位：円



□ 1株当たり当期純利益金額

単位：円



当社は、2015年8月3日に1株を5株の割合で、2016年9月1日に1株を3株の割合で株式分割を行っております。

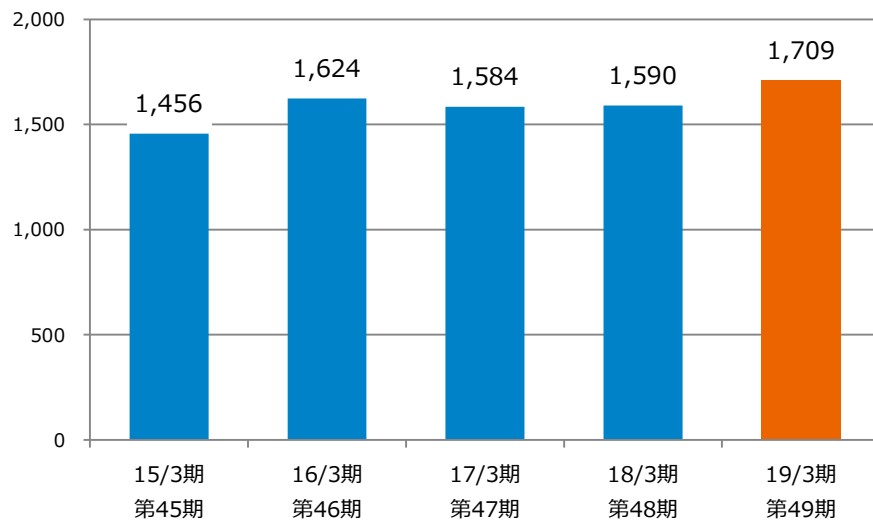
1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額については、当該株式分割を考慮して算定しております。

# ランドコンピュータの業績等の推移

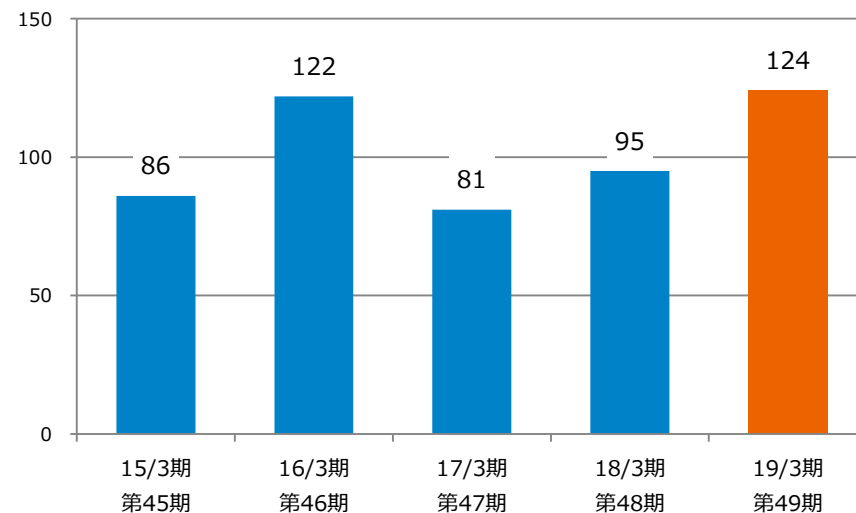


単位：千円

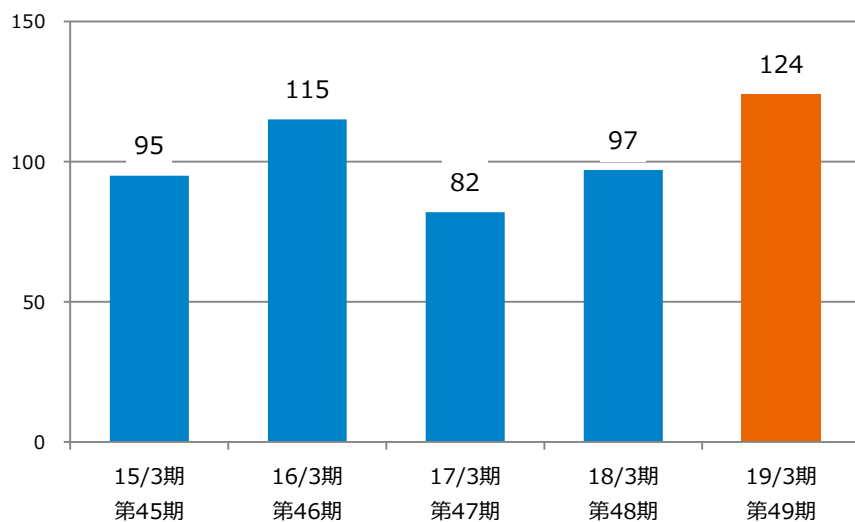
□事業部門社員一人月売上高



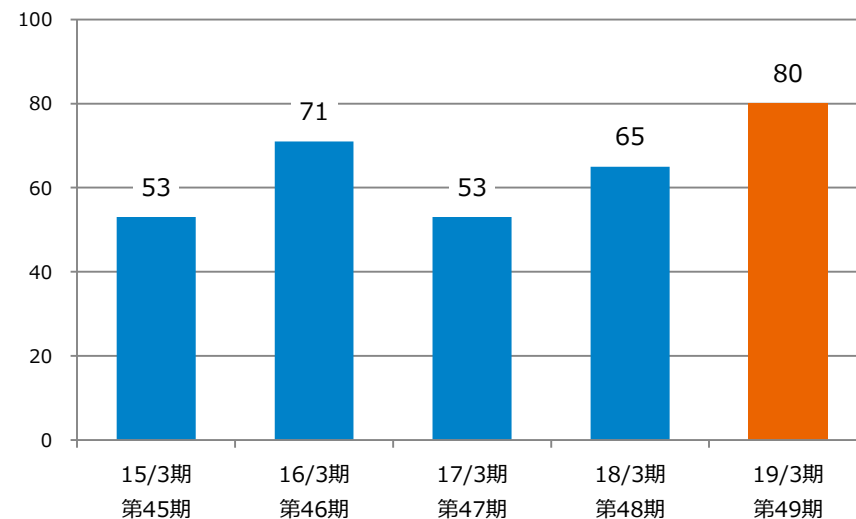
□事業部門社員一人月営業利益



□事業部門社員一人月経常利益



□事業部門社員一人月当期純利益



※事業部門社員数（年平均）より算出





## Support your IT challenge

株式会社ランドコンピュータ

<http://www.rand.co.jp/>

当説明資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関する最終決定は皆様自身のご判断において行われるようお願いいたします。

当説明資料で掲載している情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また2019年5月13日現在で入手可能な情報（2019年3月期決算短信）に基づいております。

従って、様々な要素によって今後が見通しに変更されることや実際に公表される業績が変動する可能性があります。当社は当資料を使用されたことに生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。